

FREE

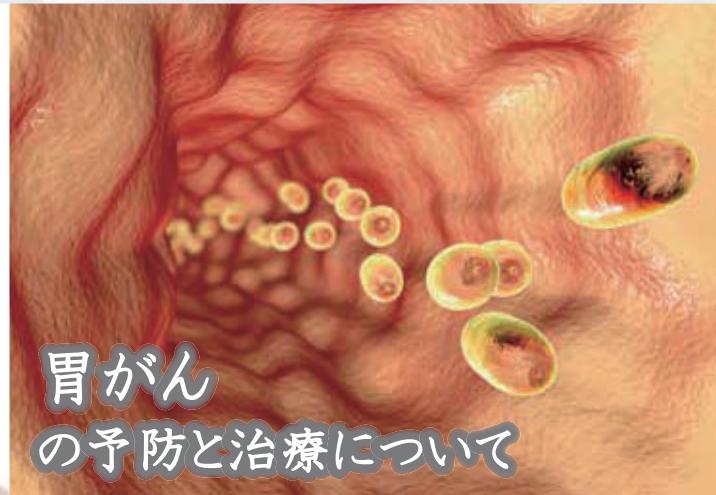
ご自由に  
お持ちください

病院と地域を結ぶ病院情報誌

夏号  
Summer

# Clear くりあ

THE FOURTH ISSUE (第4刊)



おすすめ野菜トップ5！  
夏バテ予防の栄養管理



自分に合った  
乳がん検診の受け方

- P 2～ Dr.Mの診療室よもやま話 - 第1回 -
- P 3～ 口腔粘膜の疾患について
- P 7～ 胃がんの予防と治療について
- P 10～ 夏バテ予防の栄養管理
- P 11～ 自分に合った乳がん検診の受け方
- P 12～ 町の身近なお医者様 Vol.3 - まつおかクリニック -
- P 13～ KASHIMA City Information
- P 14～ 市民健康講座のお知らせ



まだまだがんばりたい!! を応援する  
「在宅復帰強化型老健」の  
介護老人保健施設



お申込み・お問合せ 0299-83-7311 (9:00～18:00)

- ・最新リハビリ技術のご提供
- ・定員100床の入所サービス
- ・短期入所療養介護サービス(ショートステイ)
- ・定員120名の通所リハビリテーション(デイケア)

住所：茨城県鹿嶋市宮津台188-17



# Dr.Mの 診療室よもやま話

## 第1回 予防医学って?

いよいよ夏が本番になりますね、日照時間が長く、夜も短い「遊ばなきゃ!」って毎年海に山に樂し気なレジャーのお誘いが~と、ちょっと待って!一方で夏は気温が高く日本では湿度も高い、じつとしていても体力を消耗します、本来「夏休み」は体力を温存するためにあったのでは?と少し年寄り臭いイントロですかね、それはともかく「暑くって仕事なんかやってられるか」って皆が仕事を休むようになった、つまり高温多湿の環境では集中力が低下し間違いや事故が増える、無理に体力を使えば脱水症や熱中症などの危険がありまた傷みやすい環境に置かれた食べ物を体力の低下した人が口にすれば、食中毒なんて病気になる、それならば「じゃあ暑い時期は仕事を休んじゃおう」と決めたのが“夏休み”。考えてみるとこれが予防医学の基本といえます。

予防医学は英語ではpreventive medicineといいます、preventはpre、“～の前に”という意

味のラテン語praeから派生した接頭語とevent(出来事)というのが繋がって「事件の起こる前に」という意味になり「事が起こる前の医学」というのが本来の意味です、つまり“事は起こる”わけなのだから起こる前に手が打てれば大事にならなくて済む、ということになります。

また中国語で「未病」、“症状はないがほっておくと病気になってしまう状態”という言葉があります、そこで一つの考え方として「病気は誰でもなりうる災難だが、まだならない状態(未病)を長く続けられればそれで良し、でも油断するとなっちゃうよ」というのもありじゃないでしょうか、これを筆者の造語で「未病息災」。それを可能にするのが予防医学です、具体的には?それは次回に続く。

では、暑いときはくれぐれも無理をしないように休暇を楽しんでください(^^)/



「診察室よもやま話」、連載を開始します。  
病気の話や健康管理の話をできるだけ親しみやすく、わかりやすく書いて皆様の蘊蓄の一部に加えていただけたらと考えております。

小山記念病院 副院長  
兼 小山記念病院健康管理センター センター長  
森田 裕 [もりた ひろし]



# 口腔粘膜の疾患について

水沼 秀之

この疾患は何科にかかればよいのだろう?内科?皮膚科?耳鼻科?歯科?と思われる患者様が多い疾患です。口腔粘膜疾患とは、その名の通り口の粘膜に生じる疾患で白板症、紅板症、口腔カンジダ症、再発性アフタ、口腔扁平苔癬、ウイルス性疾患などがあります。どのような疾患なのか、その治療法と合わせてご紹介いたしますので参考にしてください。

## 白板症(はくばんしょう)

口腔粘膜、とくに頬粘膜や舌、ときには歯肉にみられる白い角化性の病変で、こすっても剥離しないものをいいます。白板症は比較的頻度も高く、時に悪性化する可能性が高いため、前がん病変の代表的なものとされています。びらん(粘膜の浅い欠損)をともなうこともあり、ものが当たると痛かったり(接触痛)、食べ物がしみたりします。

治療: 機械的刺激の除去(とがった歯が常に接触、義歯が絶えず当たる等)、また、しこりや潰瘍をともなうものは初期がんが疑われるため、必ず組織をとって検査する必要があります。白い部分が厚いもの、隆起したもの、びらんや潰瘍

を伴うものは悪性化(がん化)する可能性が高いので、切除します。長年かかる悪性化する場合もあり、長期にわたる経過観察が必要です。(図1)



図1: 白板症

## 紅板症(こうばんしょう)

舌、歯肉、その他の口腔粘膜に発生します。鮮紅色でビロード状、表面は平滑な病変です。境界は明瞭なものが多くみられます。初発症状として多くの症例で刺激痛が認められます。一般的に50歳代以上の高齢者が全体の80%を占めています。紅板症の50%前後が悪性化するといわれています。

治療: 外科的に切除するのが望ましいとされています。悪性化する可能性が高いため、治療後にも経過観察を行う必要があります。(図2)

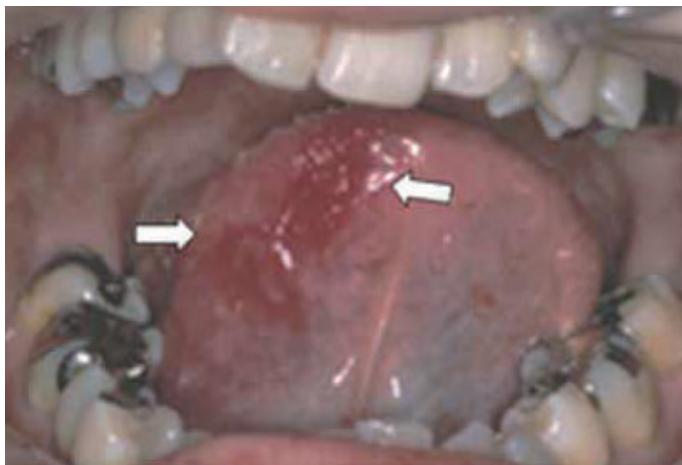


図2：紅板症



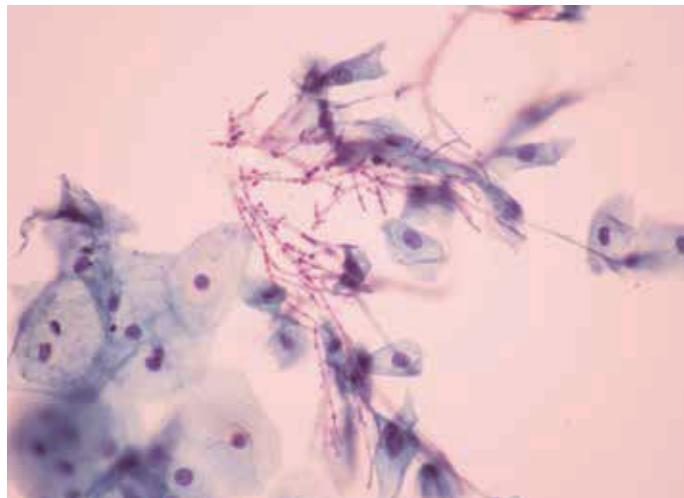
図3：口腔カンジダ症

## ウィルス性の疾患 口腔カンジダ症など

### アフタ・慢性再発性アフタ

アフタは直径数ミリ大の円形の浅い潰瘍で、潰瘍の表面は灰白色～黄白色の偽膜で覆われ、潰瘍の周囲は赤くなっています。アフタは何もしなくても1～2週間で治ります。口腔内の不衛生、細菌やウイルスによる感染、過労、ストレスなどで発症しますが確かな原因は解っていません。アフタが再発を繰り返す場合に再発性アフタといいます。なお、慢性再発性アフタはベーチェット病の一症状として生じることもあります。(図4)

治療：含嗽剤、ステロイド軟膏の塗布、ビタミン剤B2B6



### 口腔カンジダ症

原因・誘因：もともと常在菌として存在するカビの菌の一種のカンジダ・アルビカンスが原因。抗菌薬、ステロイド、抗がん剤、免疫抑制剤などの投与中や糖尿病、悪性腫瘍、血液疾患、内分泌異常などで全身の抵抗力が弱くなったり、虫歯や義歯の手入れが不十分で不衛生になった時に起こります。

治療：抗真菌薬の局所投与、あるいは内服薬の投与。(図3)



図4: アフタ・慢性再発性アフタ

## ウィルス性疾患 ヘルペス性口内炎など

### ヘルペス性口内炎

単純性ヘルペスウィルスによる初感染で、一般には無症状の感染(不顕性感染　ふけんせいかんせん)ですが、数パーセントが顕性感染(けんせいかんせん)としてヘルペス性口内炎の形をとります。大半が小児にみられますが、近年では核家族化に伴い大人にもみられます。

症状：全身的に発熱や倦怠感がみられます。口腔粘膜には多数のアフタができ全体に発赤し、特に歯肉の発赤、腫脹、びらんが特徴で口腔内は不潔となり、口臭が強くなります。自発痛や接触痛も強く、噛むこと、飲みこむこと、話すことすら困難になることがあります。頸下リンパ節もはれます。

(図6, 7)



図6：ヘルペス性口内炎



### 扁平苔癬(へんぺいたいせん)

皮膚や粘膜にできる角化性で炎症をともなう難治性の病変です。口腔では頬粘膜に多く認めますが、舌や口唇にも生じます。白い粘膜の角化がレース状にみられ、周囲に発赤を伴うのが特徴です。しばしば、びらんや潰瘍を形成し、接触痛を認めたり、食物がしみたりします。非常にまれにがん化することもあります。

原因：アレルギー、とくに歯科用金属によるものや遺伝的素因、自己免疫疾患、ストレスなどの精神的因素、さらに代謝障害などの関与が考えられていますが、正確な原因是不明です。

治療：含嗽剤、ステロイド軟膏の塗布 (図5)



図5：扁平苔癬



図7：ヘルペス性口内炎



図8：帯状疱疹

### 帯状疱疹

子供の時になった水痘のヘルペスウイルス(水痘帯状疱疹ウイルス)が、神経の付け根に残っていて、体調が悪いとそれが活性化されて発症します。神経の支配する領域に一致して、発疹が多発します。三叉神経(さんさしんけい)領域の顔面皮膚に多く認めます。広い範囲に帯状に発赤と小水疱がでます。必ず体の右または左側だけブロック状に発生し、全身に拡がることはありません。かなりの痛みを伴い、重症の場合もあるので注意が必要です。

治療：重症の場合は入院が必要となり、全身的な管理とともに、食事が困難な場合には、点滴やチューブで栄養を補給する必要があります。抗ウイルス薬、消炎鎮痛薬のほか、二次感染の予防として抗菌薬の投与を行います。局所的にはうがい薬やトローチで口腔内を清潔にします。帯状疱疹後には神経痛がのることがあり、消炎鎮痛薬で奏効します。(図8)

以上、口腔粘膜疾患についてお話をいたしました  
【(社)日本口腔外科学会ホームページ引用】。

口腔粘膜の疾患は多岐にわたり、様々な病態を示すことがあります。治りが悪い口内炎(アフタ)、口内の痛みがひどくて食事がとれないなどがありましたらお気軽に歯科口腔外科へご相談ください。



水沼 秀之 [みづぬま ひでゆき]  
小山記念病院 歯科、歯科口腔外科 部長

学会・専門医  
・歯学博士(口腔外科)  
・歯科医師臨床研修指導医  
・(公社)日本口腔外科学会 会員  
・(公社)日本顎顔面インプラント学会 会員

# 胃がんの予防と治療について

## 細谷 寿久

胃がんは日本人に多いがんの1つで、1年間に15万人が新たに胃がんにかかり、5万人が亡くなっています。近年も胃がんにかかる人数は高齢化の影響で増えていますが、胃がんで亡くなる人数は横ばいです。胃がんで命をとられないためには、予防すること、そしてがんの早い段階で治療を受けることです。

### 1. 胃がんの予防について ヘリコバクター・ピロリ菌

胃がんのリスクとして、塩分の多い食事、発がん物質が含まれているたばこなどがあげられます。なんといっても重要なのはヘリコバクター・ピロリ菌(以下 ピロリ菌)です。胃がんになった人を調べてみると99%の人にピロリ菌の感染があり、逆に感染していない人は1%、という報告があります。(ピロリ菌に感染しても、全員が胃がんにかかるわけではなく、10人に1人が胃がんになるという計算です。) 10年前は日本人の半数にピロリ菌が感染していましたが、近年は特に若い人に減少傾向が続いています。



ピロリ菌は細菌であり、口から入ると胃に住みついてしまう(感染)ことがあります。乳幼児期の感染が多く、成人後は胃に入っても新たに感染することはほぼありません。感染の原因として、以前は井戸水や川遊びが原因とされていました。しかし現在は、ピロリ菌がいる大人からの口移しや、幼児どうしのよだれによる感染が指摘されています。



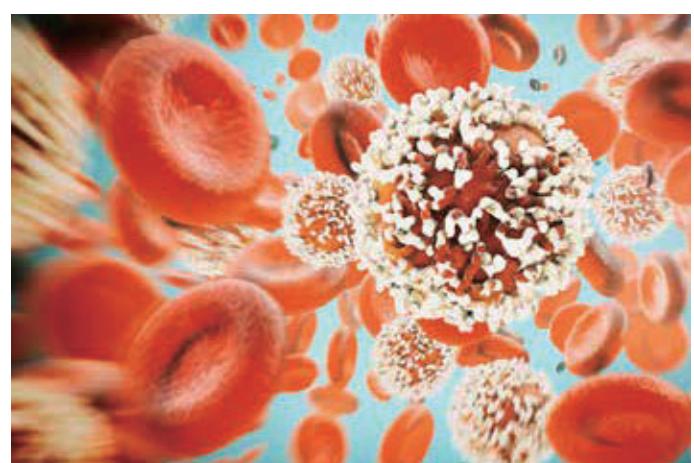
ピロリ菌は胃の中でも生きられる細菌で、感染すると胃の中を荒らします（ピロリ感染胃炎）。すると、胃・十二指腸潰瘍などにかかりやすい他に、ピロリ感染胃炎が持続するほど将来的に胃がんができやすくなります。ピロリ感染がある場合は、除菌治療（抗生素の内服）を受けることによって、胃がんのリスクを半分以下に減らすことができます。



## 2.早期発見・早期治療

より侵襲が少ない治療には早期発見が大事  
そのためには定期的な検査が必要

胃がんは胃の壁のいちばん内側から発生し、徐々に深く入り込みながら大きくなります（浸潤）。深く入り込むほど血管やリンパ管に入って転移をしやすくなります。そのため、胃がんの進行度（ステージ）は、がんの浸潤が浅いほど早期がんであり、浸潤が深いほど、また転移が多い・遠いほど進行がんになります。



### ピロリ菌の検査を受けましょう。

- ・保険診療では、胃カメラでピロリ菌感染胃炎が診断された時のみ、ピロリ菌の検査が受けられます。
- ・ピロリ菌の検査だけを受けるのは自費診療となります。（ピロリ専門外来があります。）
- ・検診で施行されることがある他、人間ドックではオプションにある「胃がんリスク健診」＝「ABC検診」にピロリ菌を調べる検査が含まれています。（過去に除菌治療をした人、強い胃薬を内服している人、胃全部を手術で切除している人は対象外です。）

胃がんの治療の基本は、がんを体から取り出してしまうことです。がんが他の臓器などに転移をしている場合には、抗がん剤治療でがんを小さくすることに努めますが、がんが取り切れると判断されれば胃を切る外科手術がなされます。近年ではお腹を大きく切る開腹手術ではなく、より侵襲が少ない腹腔鏡を用いた外科手術(腹腔鏡手術)もされています。更に、がんの浸潤がない状態なら、お腹を切ることなく、胃カメラだけで胃がんを含む胃の壁の浅い層だけを剥ぎ取る内視鏡手術(内視鏡的粘膜下層剥離術)もされています。しかしこのような、より侵襲の少ない治療を受けるには、より早期の状態で発見されなければなりません。



胃がんは進行すれば、食欲低下や体重減少、貧血などの症状が出ることがあります。早期がんの状態ではそれと分かる症状はありません。したがって、早い段階で胃がんが発見されるには、定期的な胃の検査、つまり胃バリウム検査や胃カメラが重要となります。



以前に経口の胃カメラでつらかった方は、経鼻内視鏡も導入しています。症状があって受診をしたときはもちろんですが、市や職場の検診で提案されたら積極的に検査を受けるようにしましょう。

胃がんは、早期発見・早期治療でしっかり治る病気です。ピロリ菌の検査を受ける機会はまだ多くないかもしれません、機会があれば積極的に受けましょう。定期的な胃バリウム検査や胃カメラを受けるように心がけましょう。(数字は大まかなところで、知りたい事を書きました。個々に病状が異なることもあります。担当医・専門の先生にご相談ください。)

# 夏バテ予防の栄養管理

## 栄養管理室

### 夏バテの原因は?

#### ・冷房が効きすぎている

身体が冷えることでの血行不良、外気との温度差による自律神経の乱れ、汗がかけずに体内に熱がこもり、室内での脱水につながることが原因とされます。

#### ・熱さの影響

熱さが原因で不眠となり、疲労の蓄積が夏バテにつながります。また、熱さから冷たい飲み物の過剰摂取が消化管の機能低下へとつながり、食欲不振へと影響していきます。

### 夏バテになりやすい食事パターン

#### ①炭水化物の過剰摂取

食欲低下により、冷やし麺のみなどで食事摂取を終了してしまうと、ビタミン不足へとつながり、夏バテへと繋がります。

#### ②冷たい物の摂りすぎ

アイスやかき氷など身体を冷やす物ばかり食べていると、胃腸が直接冷え消化吸収能力の低下し、下痢や免疫能の低下が見られ夏風邪や夏バテとなります。

### この夏はこれで大丈夫! 夏バテ予防に効く野菜 TOP5



第1位:やまいも  
エネルギーを作り、胃の消化を助け、腸内環境を整え免疫力を高めます。



第2位:たまねぎ  
消化酵素の働きを活発にし、消化を助け、食欲増進、疲労回復効果があります。



第3位:しょうが  
胃腸の消化吸収を助け、食欲増進、疲労回復、発汗作用を高め身体を冷やさないようにし、殺菌効果もあります。



第4位:ニラ  
疲労回復、エネルギー代謝促進、利尿作用で水分を調整しむくみの解消効果もあります。



第5位:ゴーヤ  
疲労回復効果、利尿作用があり体内の水分量を調整する効果があります。また、は胃を丈夫にしてくれる働きもあります。

- |   |          |   |         |
|---|----------|---|---------|
| 1 | 第1位 やまいも | 4 | 第4位 ニラ  |
| 2 | 第2位 たまねぎ | 5 | 第5位 ゴーヤ |
| 3 | 第3位 しょうが |   |         |

# 自分に合った 乳がん検診の受け方

## 画像検査科

テレビなどのメディアで、芸能人や若い女性の乳がんが増えているという話題が取り上げられています。現在では、若い女性でも乳がん検診を受ける方も珍しくなくなってきた。そのなかで今“高濃度乳腺(Dense Breastともいう)”という言葉が話題になっています。高濃度乳腺とは乳腺組織の中に脂肪がほぼない状態のことをいい、アジア人や若年層に多い傾向にあります。病気ではないのですが、マンモグラフィで病変の発見が難しいのが問題となっています。その問題をカバーする検査としては超音波検査があります。現在は超音波検査による死亡率減少効果を示す根拠がまだ確立されていませんが、マンモグラフィに超音波検査を追加することで早期乳がんの発見率が1.5倍になるという結果が日本の研究によ

り得られています。つまり、マンモグラフィでは乳腺に隠れてしまった見にくいがんでも超音波検査を追加することで、隠れてしまった見つけにくい乳がんが見つかることがある、ということです。このことから自分の乳腺濃度にあった検診を受けることが大切です。今まででは乳腺濃度の通知は行われていませんでしたが、最近では乳腺濃度を通知する施設が増えています。ただ、自分の乳腺濃度に合った乳がん検診を受ければ乳がんの心配はない、ということではありません。検診で異常を指摘されなくても定期的に自己検診を行い、しこりがあるなど自覚症状がある時は医療機関を受診するようにしてください。自己検診は以下のように行い、月に1回は行うようにしてくださいね。

### 自己検診の方法

#### CHECK 1

まずははじめに、左右の乳房や乳首の形を覚えます。  
両腕を下げた状態で確認してください。



#### CHECK 2

両腕を上げて乳房を鏡に映し、次のことを正面、側面、斜めからよく観察します。

1. 乳首や乳房の皮膚のどこかに、くぼみやひきつれたところはないか？
2. 乳首がへこんだり、かさぶたや湿疹のようなただれなどはできていないか？



#### CHECK 3

あおむけに寝て、調べる乳房側の肩の下にあまり高さのない枕や座布団を敷くなどし、乳房が垂れず胸の上に平均に広がるようにします。  
(右の乳房を調べる時は右肩の下)



#### CHECK 4

乳房の内側半分を調べるには、右肩を頭の後方に上げ、左手の指の腹で軽く圧迫しながら、滑らせるようにしてまんべんなく触れてみます。



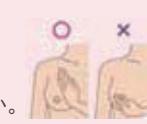
#### CHECK 5

外側半分を調べるには、右腕を自然な位置に下げ、やはり左手の指の腹で同じようにまんべんなく触れてみます。最後にわきの下に手をいれ、シコリがないか指先で確かめます。



#### CHECK 6

乳房を指先でつまむようにして調べると、異常がなくともシコリのように感じてしまうため、必ず指の腹を滑らせるようにして調べてください。(左の乳房も同様に。)



#### CHECK 7

左右の乳首を軽くつまみ、お乳を搾るようにし、血液のような異常な分泌液が出ないかどうかを確かめます。



# 町の身近なお医者さん Vol.03 まつおかクリニック

まつおかクリニックは鹿嶋市内の鹿島小学校の隣りにあるクリニックです。前身である松岡病院は戦後に鹿島郊外に開業し、昭和26年に現在の城山に移転して以来、約50年にわたって地域医療に貢献して参りました。平成13年にまつおかクリニックと名前を改め現在に至っております。

地域の皆様に身近な健康の相談者として役立てればと考え日々診療しております。病気にかぎらず体の調子が優れないといったときの相談役をめざしなにか気になることがあれば、すぐに話しかけていただけるように気軽に相談できるクリニックを目指しています。カゼや胃腸の不調や、腰痛、膝、肩や頸部の痛みに対しどのように治療していくかはもちろんのこと、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病におけるふだんの食生活のアドバイスや、慢性的な体調不良に対する漢方薬を用いた治療なども行っております。

病状や体調、仕事や家事の具合に合わせて、患者様にあった取り組み方をアドバイスさせていた

だくと同時に、より高度の検査や治療が必要な患者様には専門性の高い小山記念病院の先生方にご相談、ご紹介させていただいております。自分の症状がどこの科を受診したらよいかわからないという患者様には、当院にご相談いただき、しかるべき外来をお勧めするようにいたします。また当院ではキズやヤケドの治療には、適切な被覆材を用いた湿潤療法を行っております。キズの定期通院が必要な方はご相談ください。

## 診療科目

内科、漢方内科、外科  
リハビリテーション科

## 診療時間

午前9:00～12:00  
午後2:00～6:00

## 休診日

木曜日午後  
日曜日・祝日、年末年始

## 院長 松岡 孝紀 [まつおか たかのり]

- ・日本東洋医学会 漢方専門医
- ・日本外科学会





# KASHIMA City Information

鹿嶋市からのお知らせ

## 鹿嶋市子育て世代包括支援センター



りぼん

### 子育て世代包括支援センターとは

- ①妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ
- ②様々なニーズに対して母子保健コーディネーターが切れ目のない支援を行う

ための拠点です。

※母子保健コーディネーターとは妊娠期から子育て期までのママやご家族の様々な支援をする相談員(専門職)です。



### 事業内容

- 母子健康手帳発行の際に、全ての妊婦さんを対象に面接を実施し、妊婦さんに応じた情報提供を行います。



- 産前・産後にご様子をお伺いします。  
妊娠・出産・育児に関する相談ができます。  
また、ニーズに応じた様々な支援を行います。

- 医療機関や子育てに関わる関係機関と連携しながら、切れ目のない支援を行います。

子育て世代包括支援センターの開設に伴い、母子手帳は「**りぼん**」のみでの交付となります。総合窓口課での交付、休日開庁の際の交付は行いません。  
また、交付の際に面接のためお時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承下さい。

### 対象



鹿嶋市に居住する妊婦及び育児中のママとその家族。

### 開設時間



月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く)  
午前8時30分～午後5時15分まで

鹿嶋市子育て世代包括支援センター

りぼん

(鹿嶋市保健センター内)



鹿嶋市平井1187-1

なやみゼロ

0299-77-7806

# 市民公開講座 のお知らせ

小山記念病院では地域の住民の皆さまへの啓発として、市民公開講座を実施しております。この市民公開講座を通して、皆さまの診断・治療に対してのご理解も確実に深まるものと期待されます。また、適時「がん」に関する講演も行なっておりますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。下記の他にも、各診療科で市民の皆様に対しての健康講座を企画中のものもあり、当病院ホームページでもトピックスとして更新していきますので、是非ご確認ください。



小山記念病院  
ホームページ  
へのアクセス  
は下記QRから



## 大腸がんについて

外科:原医師

2018年  
9月12日(水)



## 虚血性心疾患について

循環器科:江角医師

2018年  
11月22日(木)



## 高血圧症について

健康管理センター:森田医師

2019年  
1月16日(水)



## 骨粗しょう症について

整形外科:小林医師

※日付は決まり次第  
ご連絡致します。



# 小山記念病院 求人のご案内

新卒・中途を  
問いません!!

求人職種 ※パート希望の方も遠慮なくご相談ください。

|        |           |                       |
|--------|-----------|-----------------------|
| 常勤看護師  | 298,000円～ | (条件：夜勤を規定回数おこなうこと)    |
| パート看護師 | 時給1,200円  | ※日勤帯のみをご希望の方も募集しています。 |

## 看護学生支援【奨学金制度】について

### 5万円コース

初年度 : 学費全額(入学金、授業料他)を貸与致します。

2年目以降 : 毎月貸与 … 5万円×年12回=60万円(年額)  
年2回貸与 … 30万円×年2回=60万円(年額)

### 10万円コース

毎月貸与 … 10万円×年12回=120万円(年額)  
年2回貸与 … 60万円×年2回=120万円(年額)

※10万円コース受給には年間授業料(入学金、入学に際してかかる一時的費用を除く)が72万円超であることが必要です。

|         |           |
|---------|-----------|
| 社会福祉士   | 168,800円～ |
| 医療連携事務員 | 139,000円～ |
| 医療事務員   | 139,000円～ |

※指定の資格所持者には別途手当を支給します。

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 健康管理センター保健師又は管理栄養士 | 183,000円～ |
| 薬剤師                | 228,000円～ |
| 診療放射線技師            | 203,000円～ |
| 臨床検査技師             | 183,000円～ |
| 管理栄養士              | 183,000円～ |
| 歯科衛生士              | 180,400円～ |

※夜勤手当10,000円/1回

※当直手当15,000円/1回、待機手当2,000円/1回

※宿直手当15,000円/1回、早番手当1,000円/1回

※病院以外の配属の可能性あり

※小山記念病院又は神栖市ふかしば歯科での求人

## 雇用条件および福利厚生

休日制度 年間休日105日、有給休暇10日～、リフレッシュ休暇3日～ 休日合計118日～

休暇制度 産前産後休暇、育児休暇※ともに取得率100%、介護休暇、慶弔休暇

昇給 2年目以降 年1回 約2%

賞与 2年目以降 年2回 約4ヶ月

加入保険 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険

退職金 確定拠出年金制度(勤続3年目以降)

交通費 上限25,000円まで

職員寮 15,000円～25,000円 ※単身用のみ

医療費減免制度 常勤職員の場合小山記念病院内の診療費全額返金、パートは半額返金

法人保育所あり 6ヶ月からお預かり可能な保育所があります。

キャリアアップ支援 研修・勉強会・学会の参加費用の支援があります。